

古墳って何だ。

作：伊藤育雄

【問題1】 これは、大阪府堺市にある大仙古墳です。2019年、ユネスコの世界遺産に登録された「もず百舌鳥・ふるいち古市古墳群」の一つです。鍵穴のような形をした森の周りは池になっています。古墳って、何ですか。

- (ア) 昔の公園
- (イ) 昔のお墓
- (ウ) 昔のお城の跡
- (エ) そのほかの考え



【答え】 (イ)です。今から、1500年くらい前に、造られました。大阪府の堺市にあります。この大仙古墳は、日本に残っている古墳の中では、一番大きいものです。

【問題2】 では、どんな人のお墓なのでしょうか。

【答え】 この地方を治めていた大王（おおきみ）の墓だと言われています。このころ、この大王のいる大和王権は周りの「くに」を従わせ、日本の中では大きな力を持っていました。（大和朝廷…朝廷とは朝に政治を行う場所を表し、そのような政治が行われたのは律令制度が確立されてからです。したがって、大和朝廷ではなく大和王権と表記した方が正しいのです。）

【問題3】 この大仙古墳の面積はどれくらいだと思いますか。

- (ア) エジプトのピラミッドよりせまい。
- (イ) エジプトのピラミッドより広い。
- (ウ) エジプトのピラミッドとほぼ同じ。

※エジプトのピラミッドは、今から5000年くらい前につくられました。一番大きいのは、クフ王のピラミッドです。



【答え】 (イ)です。面積ですから、高さは考えません。長さは486m、幅は305mで、面積(底面積)だけでは世界一の墓です。ピラミッドで一番大きいクフ王のものは、縦・横の長さは230mです。しかし、高さは146mもあるので、体積ではクフ王のピラミッドが世界一です。(ピラミッドは王の墓と考えられてきたが、王家の墓が見つかったことから、ピラミッドは墓ではないといわれるようになってきた。では、何か。神殿なのか倉庫なのか…。)

【問題4】 大仙という名前は、どこからつけられたのでしょうか。

- (ア) 大王の名前から。
- (イ) 大きい山という意味から。
- (ウ) 土地の名前から。

【答え】 (ウ)です。仁徳天皇陵(仁徳天皇の墓)として、かつての教科書には書いてありました。しかし、仁徳天皇が葬られていたかは、はっきりしていません。掘って調べたくても、発掘してよいという許可が国から出ていません。そのため、土地の名前(大仙)から、大仙古墳としています。

※2018年10月、宮内庁と堺市の共同発掘が一部で始まりました。

※天皇とよぶようになったのは、壬申の乱(672年)のあとの天武天皇からだと言われています。

【問題5】 その形は何と言われるのでしょうか。

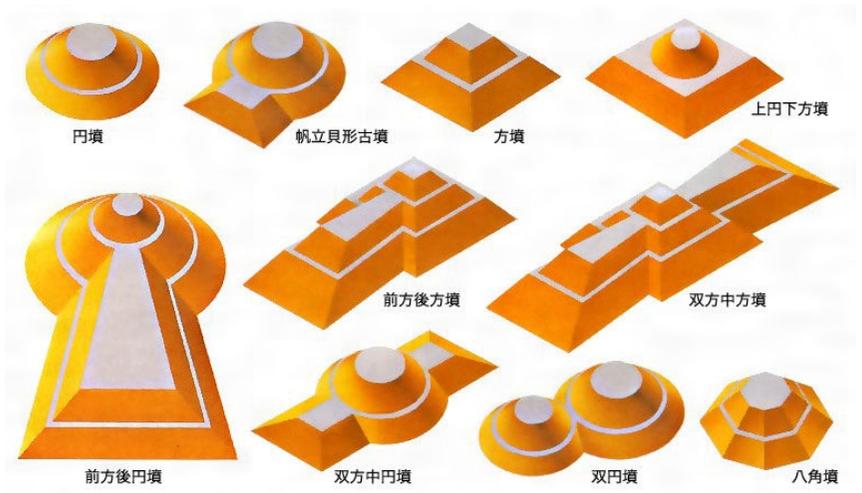
(ア) 円墳

(イ) 方墳

(ウ) 前方後円墳

(エ) 前方後方墳

【答え】 (ウ)です。前の方が「方」(正方形・長方形の「方」)、つまり四角形をしていて、後ろの方が円の形をしているので、前方後円墳と言われています。なお、(ア)(イ)(エ)の形をした古墳もあります。



【問題6】 1500年前と同じ造り方で、大仙古墳を造ると、完成するのに何年で、お金はいくらかかるのでしょうか。

- (ア) 5年間で8億円
- (イ) 10年間で80億円
- (ウ) 15年間で800億円
- (エ) 20年間で8000億円

【答え】 当時と同じように、人間が機械を使わず道具だけで造ると、のべ680万7000人が必要になり、15年8か月間・796億円かかります。現在のように大型機械を使っても、のべ2万9000人が必要になり、2年6か月間・20億円かかります。(試算：建設会社・大林組)

【問題7】 では、なぜ、このような大きなお墓を造らせたのでしょうか。
また、だれが働かされたのでしょうか。

造らせたわけ

働かされた人

【答え】 自分の力(権力)がこんなにすごいだぞと示すために、多くの農民や奴隷を使って造らせました。生きているうちから造らせます。そうでないと、死ぬときに間に合わないですね。

【問題8】 古墳の上や周りには、埴輪が並べてありました。それは、なぜでしょうか。

- (ア) 儀式の場所を表すために、並べた。
- (イ) 外敵を追い払うために、並べた。
- (ウ) ほかの場所との境目として、並べた。
- (エ) 生贄いけにえの代わりとして、並べた。



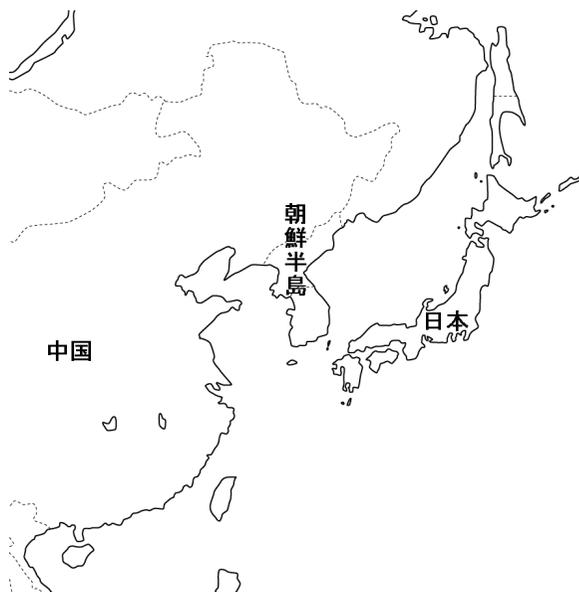
※生贄…生きた動物や人を神に供えること。

【答え】 (ア)と(イ)と(ウ)です。埴輪は素焼きの土器です。円い筒の形のものと、人や物の形をかたどったものがあります。古墳で、後継ぎに位を譲る儀式が行われたことを表すためと、その儀式が行われた場所を守るために、埴輪が置かれたようです。初めのころは円い筒の形ばかりで、人や動物の形のものは古墳時代の終わりの方になってから置かれたので、生贄の代わりとは考えにくいと思われます。

古墳時代の前、邪馬台国の卑弥呼が葬られたときには、百人あまりの奴隷が生贄として一緒に葬られました。

【問題9】 前方後円墳は、日本にしかなかったのでしょうか。

- (ア) 日本にしかない。
- (イ) 朝鮮半島にもある。
- (ウ) 中国にもある。
- (エ) 朝鮮半島や中国にもある。



【答え】 (イ)です。韓国の光州市で、前方後円墳の古墳の集まりが発見されました。また、円い筒の形の埴輪も見つかりました。これらの発見から、日本と朝鮮半島との深い交流があったことがわかります。

紀元前2世紀から7世紀にかけて、朝鮮半島から移り住んだ渡来人が日本にさまざまな*文化を持ち込みました。

* (稲作・土木建築技術・鉄器・絹織物・漢字・仏教など)

最近の研究では、朝鮮半島の国・百濟から日本にやってきた実力者・余紀(450年生まれ)が継体天皇となり、そのお墓が大仙古墳ではないかと言われています。

同じく日本にやってきた余紀の兄・昆支(440生まれ)が応神天皇となり、そのお墓が誉田山古墳だとも言われています。

天皇の順は、「15**応神** 16**仁徳** 17**履中** 18**反正** 19**允恭** 20**安康** 21**雄略** 22**清寧** 23**顕宗** 24**仁賢** 25**武烈** 26**継体**」(『日本書紀』)とされていますが、10歳下の継体は応神の「5世の孫」はありえなく、仁徳～武烈は架空の天皇だという説が有力です。



誉田山古墳(大阪府羽曳野市)

(長さは425m、幅は300m。2番目に大きい。)

【問題10】では、前方後円墳は日本のどの府県に多く残っているのでしょうか。

- (ア) 奈良県
- (イ) 大阪府
- (ウ) 京都府
- (エ) 千葉県
- (オ) 茨城県



大仙古墳 入口

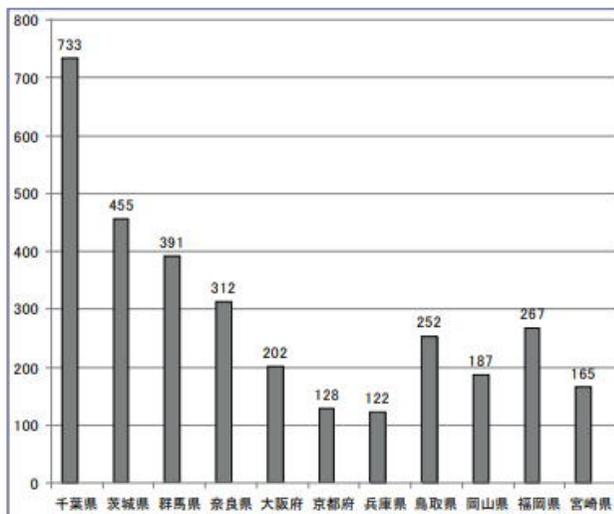
【答え】(エ)の千葉県です。2位・3位が茨城県・群馬県です。意外なことに、関東地方には前方後円墳が数多く残っています。

なかには大きな古墳もあり、殿塚古墳(千葉県)は全長88m、稲荷山古墳(埼玉県)は全長120m、天神山古墳(群馬県)は全長210mあります。

このことから、大仙古墳をつくった大和王権と同じ文化を持つ強い政権がこの関東地方にもあったと考えられます。

また、その強い政権の中心は渡来人ではないかと思われま^{こま}す。かつて埼玉県高麗郡であった埼玉県日高市には「高麗」という地名や「高麗神社」や「高麗川」があります。朝鮮半島の国・高句麗^{こうくり}から人々が移住し、ふるさとの地名を入れて命名しました。同じくかつて埼玉県新羅郡^{しらぎ}であった埼玉県新座市は、朝鮮半島の国・新羅から人々が移住してきたことがわかっています。

古墳時代を含めた日本の古代の歴史は、私たちが歴史の教科書で学んだこととはかなり違い、まだまだ多くの謎が潜んでいます。



第1表 前方後円墳の数
 (『前方後円墳集成』1991～2000、『大和前方後円墳集成』2001より)



参考文献：『日本古代国家の秘密』 林順治 (溪流社)